

令和7年度 自己評価 及び学校関係者評価書

令和8年（2026年）2月26日

札幌市立中島中学校

1. 経営方針

- 学習指導要領に基づく授業改善の実行
- 札幌らしいCSに向けた「小中一貫教育」（校種間連携）の実行
- 多様性に応じる生徒指導・支援の実行
- ワークライフバランスに配慮した働き方改革の推進

2. 学校経営の重点

- (1) 学ぶ力の育成～分かる・できる・楽しい授業づくりの充実～
- (2) 豊かな心の育成
- (3) 健やかな体の育成
- (4) 特別な配慮を必要とする子どもへの教育
- (5) 信頼される学校の創造
- (6) 教科等の枠組を越えた教育
- (7) 働き方への取組 ～生き生きと働く職場をめざして～

3. 自己評価の結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学校運営	①中島中学校の生徒の実態に合わせた教育課程の在り方が検討され、生徒主体の授業づくりを行っている。	A	「課題探究的な学習」の実現に向けた『A（見通し）A（行動）R（振り返り）サイクル』の視点からの授業改善に取り組んだ。生徒一人一人が主体的に学ぶ授業への転換を図っています。	A	A
	②小学校や家庭、地域、関係機関と連携した教育活動が行われている。	A	パートナー校である資生館小学校、星友館中学校との合同研修・情報交流を進めています。『中島中学校区』全体で子どもを育てる体制を整えるため、令和9年度のCS導入に向けて、次年度に学校運営協議会準備委員会を立ち上げます。	A	B
	③保護者や地域の人との関わりを大切に学習が実施されている。（放課後ユリイカによる学習支援、地域探究活動等）	A	さっぽろ青少年女性活動協会の協力によるユリイカスペースを利用した学習支援や食の提供、生徒会主催の地域清掃、中島公園管理事務所とのつながりが定着した。また、2学年の『職業』に関する学習では、『仕事のゆめ時間』や地域の施設での『職業体験』を実施した。これらを学校として持続可能なものにしていきます。	A	B
	④生徒一人一人に目を向け、それぞれにあった生徒支援の在り方を検討している。また、ボランティアや外部人材を活用した取組（放課後ユリイカ）や欠席生徒への支援が行われている。	A	多様なケースにできる限りの対応をしています。生徒や保護者へのアンケート結果を見ても十分伝わっていると思われるので、今後も丁寧に対応していきます。	A	A
	⑤学校全体として、既成の活動を見直す努力をしている。	A	生徒会を中心に生徒の意見をもとにきまりを見直す取組（RSP）が2年目となりました。実際に服装のきまりを変更したり、保護者からも高評価をいただけるなどの成果が見られたので、より充実したものにしていきます。	A	A
学習指導	⑥生徒が主体となった授業づくりに努めている。授業の中で、生徒が互いに尊重し合うようにしている。ICTを積極的に活用している。	B	生徒や保護者の評価は高いが、教職員の評価によりBになりました。生徒が主体となる授業になるよう努めているが、ICT機器の活用方法などのスキルをより向上させる必要があるという思いが数値となって表れたものです。継続してスキルアップを目指します。	A	A
	⑦課題探究的な学習を取り入れた授業を行っている。	B	生徒や保護者からはAの評価をいただいたが、教職員の評価によりBになりました。札幌市がすすめている「A（見通し）A（行動）R（振り返り）サイクル」の視点からみた授業改善に今まで以上に取り組み、生徒に還元していきます。	A	A
	⑧ICTを活用して情報活用能力を進化させたり、情報発信能力を育成したりしている。	B	生徒や保護者の評価は高いが、教職員の評価によりBになりました。現在は活用スキルの平準化を図っている段階であり、次年度はさらなる利活用による個別最適な学びの実現を目指します。	A	A

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
生徒支援	⑨ 旅行的行事や学校祭活動は、豊かな感性や仲間と協力する力を育んでいる。	A	行事を通して社会性を身に付けたり、より良い人間関係を構築したりすることができるような指導を継続していることが生徒や保護者に届いていると実感できる数値の上昇が見られました。生徒が成長を実感できるよう指導や取組を継続していきます。	A	A
	⑩ 旅行的行事や学校祭活動、特別の教科 道徳を通して、自他を尊重し、支え合う気持ちが育まれている。	A	今後も学校行事や日常生活、係・当番活動をもとに、自他を大切にす好ましい人間関係構築の支援を継続します。	A	A
	⑪ 学校は、いじめに対して組織的に取り組み、「防止」、「早期発見」、「対処」に向けた努力をしている。	A	年々数値が上昇しています。本校に関わる全ての人に、いじめは犯罪であることや人権尊重の考え方についての理解が広まり、本校の方針を理解していただけるように指導や取組を継続します。	A	A
	⑫ 学校は「健やかな体」育成プログラムに基づいて運動機会を創出し、部活動等を通して生徒の体力向上に向けて努力している。	B	部活動設置へのご要望を真摯に受け止めつつ、教職員の適正な勤務時間管理との両立を模索しています。今年度はユリイカサークル等と連携した新たな活動形態も試行しており、今後も持続可能な形での運動機会の確保を検討していきます。	A	B
	⑬ 健康に関する指導や感染症への対応が適切に行われている。	A	学年に応じて、健康に関する指導、性に関する指導などを実施しました。引き続き、養護教諭や保健体育科の授業などを軸に全教職員で指導していきます。	A	A
	⑭ 食指導、食についての情報発信が適切に行われている。	A	給食時に献立や由来、栄養価などを毎日TVで紹介しています。栄養教諭、養護教諭、家庭科、保健体育科などの授業やシャボテンログによる生徒の朝食の実態把握などをもとに、全教職員で指導を継続します。	A	A
学校運営	⑮ 学校は保護者や地域に対して学校内の情報を積極的に発信し、理解を得られるよう努めている。	A	学校ホームページにより学校内の様子を定期的にお知らせしています。すぐーの配信数が増え、お知らせや各種参加確認は保護者とダイレクトに行うケースがより一層増えました。保護者や地域の方が求める情報と学校がお知らせしたい情報を精査して発信していきます。	A	A
	⑯ 学校評価アンケート等を通して、よりよい学校経営がなされるよう努めている。	A	学校評価アンケートは全教職員が目を通し、個別の意見や要望について各担当部署で検討しております。検討した結果、変更できないものもありますが、中島中学校に関わる多くの人が納得して気持ちよく生活できるよう工夫と改善に努めます。	A	A
	⑰ 学校は、安心・安全な環境づくりを行っている。	A	数値の上昇が見られました。いじめ防止の指導や取組、命を大切にす指導、人権に関する指導、SNSとのかかわり、SSTなどについて、今後も継続指導していきます。	A	A
生徒支援	⑱ 将来を見据えた進路指導が計画的に行われ、主体的に進路選択する能力・態度が育まれている。	A	3年間を見通した進路指導を計画・実施しています。今年度はタイムラグの少ないすぐー配信やHPの更新で保護者からの評価が上昇しました。今後も、受験指導にとどまらず、自分事として将来を真剣に考えられるような指導を継続し、内容を積極的に発信します。	A	B

4. 学校関係者評価委員による意見

自己評価は適切である。学習指導の項目のB評価について、先生方が自分達で厳しく評価した結果とのことなので、これを尊重する。
改善策について、②③⑫⑱の4項目をBとする。運動機会の創出として、激しい運動を伴わない種目でのイベントを企画したり、「地域モルック部」などの地域住民と交流しながら体を動かす場を設けることを検討したりしてはどうか。また、地域とのつながりをもっと増やすには、地域を学ぶ学習に地域人材を活用したり、防災や『仕事のゆめ時間』の授業で協力してもらえるようにしたりするのはどうか。身近に暮らしている地域の方と接することで、生徒が自分の未来を考えやすくなる効果も期待できる。
これらのように、改善策として具体的なものが示されるとより良くなる。Aの項目もA°を目指して頑張してほしい。